

働く女性のあゆみ展

国立女性教育会館(NWEC)は昨年度、「女性と仕事の未来館」(2000~2011)旧蔵の報告書、パンフレット、ポスター等、約4500点に及ぶ資料の寄贈を受けました。

今回の展示では、これらの資料から、戦後から現在までの働く女性のあゆみをたどります。

展示資料例



第1回婦人週間ポスター (1949)

育児休業制度の実施事例

	A 製作所	B 病院
休業期間	産後1週間(産後1週間)までの期間で本人の希望する期間	子供が1歳になるまでを限度として、本人の申請した期間
賞 給	本人が負担すべき社会保険料相当額を支給する	本人が負担すべき社会保険料相当額を支給する
支払の責任	休業中の被保険者資格は継続する	休業中の被保険者資格は継続する
戻 勤	戻勤として戻勤義務	戻勤義務
勤務生数	休業期間中は勤務人数に算入しない	退職金の算定については休業期間の分の1を算入する

育児休業制度の普及は国際的な動きです

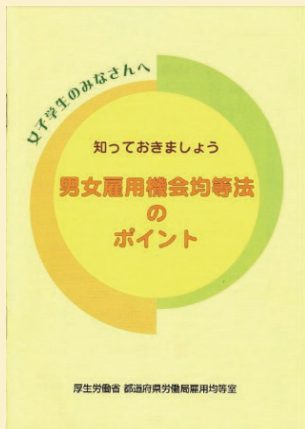
スウェーデン、イタリア、ドイツ、オーストラリア等海外においては、育児休業が法律によって制度化されています。

○日本の男女労働者、特に家族の責任を有する労働者の権利及び労働待遇に関する条約。報告では、育児休業の責任を有する労働者が職業生活と家族責任との両立を図ることができるよう必要な措置をとることを求めています。

心算欄は、下記にお問い合せください



昭和60年度 育児休業制度のおすすめ (1985)



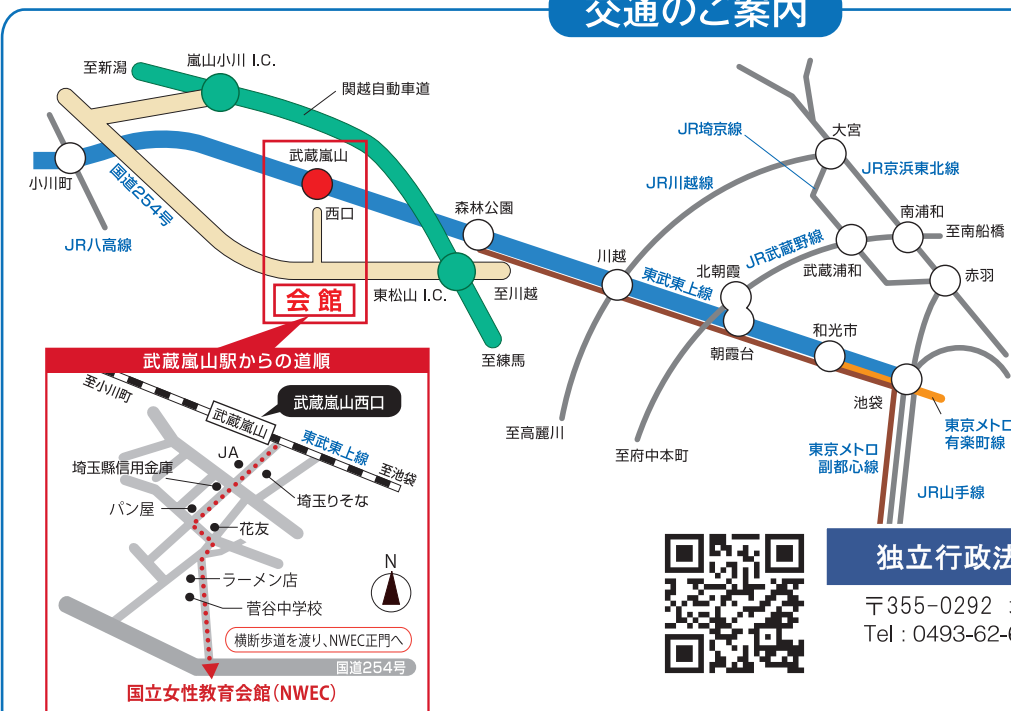
女子学生のみなさんへ 知っておきましょう 男女雇用機会均等法のポイント (2004)

女性アーカイブセンター展示についてはこちらをご覧ください。
女性アーカイブセンター展示

<https://www.nwec.go.jp/event/archivecenter/index.html>



交通のご案内



電車では

会館最寄駅、武蔵嵐山駅は池袋駅から東武東上線下り急行に乗り約60分、徒歩約12分。
■タクシー利用の場合
武蔵嵐山駅から約5分。
森林公園駅、小川町駅から約15分。
※東京メトロ有楽町線・副都心線と光市駅から東武東上線に乗り換えができます。また、相互乗り入れも行っています。



自動車では

関越自動車道練馬I.C.からの場合、東松山I.C.(所要時間約35分)で降り、国道254号線を西に15分、新潟方面からは嵐山小川I.C.で降り、国道254号線を東に15分。



独立行政法人 国立女性教育会館

〒355-0292 埼玉県比企郡嵐山町菅谷728
Tel : 0493-62-6195 E-mail : infodiv@nwec.go.jp

